

最近の調剤医療費（電算処理分）の動向
平成 24 年 11 月

○ 概要

(1) 平成 24 年 11 月の調剤医療費（電算処理分に限る。以下同様。）は 5,595 億円（伸び率（対前年度同期比、以下同様。）2.5%）で、処方せん 1 枚当たり調剤医療費は 8,323 円（伸び率▲1.2%）であった。（→P.1-2）

調剤医療費の内訳は、技術料が 1,458 億円（伸び率 5.7%）、薬剤料が 4,128 億円（伸び率 1.4%）で、薬剤料のうち、後発医薬品が 426 億円（伸び率 21.9%）であった。（→P.4）

3要素分解 （→P.8-9）	処方せん1枚当たり 薬剤料	処方せん1枚当たり 薬剤料種類数	1種類当たり 投薬日数	1種類1日当たり 薬剤料
実数	5,137 円	3.00 種類	20.2 日	85 円
伸び率（%）	▲3.1	+0.7	+1.1	▲4.9

(2) 薬剤料の約 85%を占める内服薬（3,453 億円（伸び幅（対前年度同期差、以下同様。）18 億円）を薬効大分類別にみると、21 循環器官用薬が 914 億円（伸び幅▲40 億円）と総額が最高で、39 その他の代謝性医薬品が伸び幅 30 億円（総額 423 億円）と伸び幅が最高であった。（→P.10）

年齢区分 （→P.10~13）	内服薬 総額 （伸び幅）	総額順（総額）		
		1 位	2 位	3 位
全年齢	3,453 億円 （+18 億円）	21 循環器官用薬 （914 億円）	11 中枢神経系用薬 （544 億円）	39 その他の代謝性 医薬品（423 億円）
0 歳以上 5 歳未満	52.2 億円 （+0.79 億円）	44 アレルギー用薬 （20.1 億円）	61 抗生物質製剤 （15.5 億円）	22 呼吸器官用薬 （8.5 億円）
5 歳以上 75 歳未満	2,186 億円 （▲0 億円）	21 循環器官用薬 （571 億円）	11 中枢神経系用薬 （349 億円）	39 その他の代謝性 医薬品（286 億円）
75 歳以上	1,215 億円 （+18 億円）	21 循環器官用薬 （343 億円）	11 中枢神経系用薬 （195 億円）	39 その他の代謝性 医薬品（136 億円）

(3) 処方せん 1 枚当たり調剤医療費を都道府県別にみると、全国では 8,323 円（伸び率▲1.2%）で石川県（10,697 円（伸び率▲3.3%））が最高で、佐賀県（7,039 円（伸び率▲1.1%））が最低であった。

また、伸び率は宮城県（伸び率 0.6%）が最高で、福井県（伸び率▲4.3%）が最低であった。（→P.25-26）

【後発医薬品薬剤料】426 億円（伸び率：21.9%、伸び幅 77 億円）（→P.34）

【後発医薬品割合】（→P.33）

	後発医薬品割合	伸び幅
数量ベース	29.0%	+5.5%
薬剤料ベース	10.3%	+1.7%
（後発品調剤率 ^注 ）	53.7%	+4.9%

注）全処方せん枚数のうち後発医薬品を調剤した処方せん枚数の割合

【後発医薬品 年齢階級別】（→P.34~35）

	全体	最高	最低
後発医薬品薬剤料の伸び率	+21.9%	+27.1% （75 歳以上）	+10.3% （0 歳以上 5 歳未満）
後発医薬品割合（薬剤料ベース）	10.3%	11.3% （65 歳以上 70 歳未満）	6.9% （10 歳以上 15 歳未満）

【後発医薬品（内服薬） 薬効分類別】（→P.36~37）

	全体	最高（薬効大分類）
総額	381 億円	100 億円（21 循環器官用薬）
総額の伸び幅	+74 億円	+25 億円（21 循環器官用薬）
総額の伸び率	+24.0%	+119.6%（11 中枢神経系用薬）

年齢区分 （→P.36~40）	内服薬 総額 （伸び幅）	総額順（総額）		
		1 位	2 位	3 位
全年齢	381 億円 （+74 億円）	21 循環器官用薬 （100 億円）	23 消化器官用薬 （75 億円）	11 中枢神経系用薬 （38 億円）
0 歳以上 5 歳未満	4.5 億円 （▲0.42 億円）	22 呼吸器官用薬 （1.59 億円）	61 抗生物質製剤 （1.13 億円）	44 アレルギー用薬 （0.86 億円）
5 歳以上 75 歳未満	237 億円 （+41 億円）	21 循環器官用薬 （66 億円）	23 消化器官用薬 （44 億円）	39 その他の代謝性 医薬品（27 億円）
75 歳以上	139 億円 （+32 億円）	21 循環器官用薬 （35 億円）	23 消化器官用薬 （31 億円）	11 中枢神経系用薬 （16 億円）

【後発医薬品 都道府県別】（→P.50~54）

	全国	最高	最低
処方せん 1 枚当たり後発医薬品薬剤料	633 円	926 円（岩手県）	500 円（佐賀県）
処方せん 1 枚当たり後発医薬品薬剤料の伸び率	+17.5%	+25.2%（鳥取県）	+9.4%（沖縄県）
後発医薬品割合（数量ベース）	29.0%	42.0%（沖縄県）	24.4%（秋田県）
後発医薬品割合（薬剤料ベース）	10.3%	14.0%（沖縄県）	8.0%（徳島県）
後発医薬品調剤率	53.7%	66.9%（沖縄県）	47.6%（東京都）

〔利用上の留意点〕

(1)分析対象レセプトの特徴

- 審査支払機関（社会保険診療報酬支払基金及び国民健康保険団体連合会）において、レセプト電算処理システムで処理された調剤報酬明細書のデータを分析対象としている。
- 平成 24 年 11 月現在の電算処理割合は、処方せん枚数ベース、医療費ベースともに約 99%である。

(2)表章期間

- 平成 16 年 10 月調剤分からデータは収集しているが、伸び率の分析を主眼としているため、統計表上の表章期間は平成 17 年 10 月以降とした。